

## プログラム

コーディネーター

西岡秀三（文部科学省参与・革新プログラム統括）

### － 第1部 －

革新プログラムと本シンポジウムについて

松野太郎（文部科学省参与・革新プログラム統括）

温暖化抑制目標の策定に気候モデルはどう役立つか

河宮未知生（海洋研究開発機構 チームリーダー）

極域の氷床変化に伴う海面上昇 ～将来見通しとその不確実性～

阿部彩子（東京大学大気海洋研究所 准教授）

### － 第2部 － パネルディスカッション

テーマ：気候政策の鍵を握る科学的知見

パネリスト：枝廣淳子（環境ジャーナリスト）

江守正多（国立環境研究所 室長）

安井 至（製品評価技術基盤機構 理事長）

安成哲三（名古屋大学 教授）

第一部講演者

（松野太郎、河宮未知生、阿部彩子）

**参加無料**

平成 22 年度公開シンポジウム

# 気候大変動の時代に**生きる**

～未来選択の道しるべ・長期予測～

問合せ先：海洋研究開発機構

kakushin\_symposium@jamstec.go.jp / 電話 045-778-5700 / FAX 045-778-5497

\*原則、インターネットからの事前登録となります。

# POST CARD

平成22年度 公開シンポジウム

## 気候大変動の時代に生きる～未来選択の道しるべ・長期予測～



**日時：平成22年8月27日(金)**

13:30～17:00 (開場13:00)

**会場：一橋記念講堂**

東京都千代田区一ツ橋2-1-2  
学術総合センター内

**定員：500名** (事前の予約が必要です)

**主催：海洋研究開発機構**

**事前登録**

<http://www.jamstec.go.jp/kakushin21/jp/symposium2010>